

適正利用に係る交通量の調整に係る取組のバックデータ

1. 各種取組による一時的な過剰負荷の軽減.....	2
(1) 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの実施	2
(2) 公共交通（路線バス）の利用者数	3

1. 各種取組による一時的な過剰負荷の軽減

(1) 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの実施

公共交通機関の利用促進普及啓発キャンペーンの一環としてポスター及びリーフレットを作成し、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社等の協力により、配布・掲示を実施した。

マイカー利用者への広報を効果的に実施するため、奈良県内外の道の駅および登山用品店へのポスター・リーフレットの配付を行うとともに、奈良県内の山岳連盟や近畿圏の主な自然系博物館へ掲示の依頼を行った。

表1：ポスター・リーフレットの掲示・配布の実施概要（単位：枚）

配布先		ポスター	リーフレット	配布・掲出期間
近畿日本鉄道(株)	主要駅等	100	3,000	平成23年10月1日～ 平成23年11月30日
奈良交通(株)	各営業所等	20	3,500	同上
道の駅	奈良県内10ヶ所	9	100	同上
	奈良県外11ヶ所	11	110	
自然系博物館	10ヶ所	10	100	同上
登山用品店	11ヶ所	11	220	同上
その他	大台ヶ原ビジターセンター、行政機関等	39	820	同上
	山上における直接配布	—	150	平成23年10月23日
合計		200	8,000	

注) ポスター・リーフレットの枚数は、協力を依頼した枚数を示す。



写真1：リーフレット配布(近鉄阿部野橋駅構内)



写真2：リーフレットの直接配布(大台ヶ原山上)



写真3：ポスター掲示(奈良交通上市駅構内)



写真4：京都御苑「大台ヶ原美しい自然展」で掲示

(2) 公共交通（路線バス）の利用者数

近年は、路線バスの利用者数は減少傾向にあったが、今年度は2,076人（H22：1,824人）と昨年よりもやや増加した。

表2：路線バス乗車人数の推移

年	上市駅発（行き）	大台ヶ原発（帰り）
平成15年	4,685	4,355
平成16年	2,902	2,685
平成17年	2,875	2,677
平成18年	3,105	2,974
平成19年	2,873	2,772
平成20年	2,485	2,440
平成21年	2,221	2,125
平成22年	1,824	1,750
平成23年	2,076	2,026

出典) 奈良交通(株) 吉野営業所

注1) 単位は「人」。

注2) 上市駅発大台ヶ原行きについては、途中（和佐又、杉の湯）で下車した者を含む。また、大台ヶ原発上市駅行きについては、途中（和佐又、杉の湯）で下車した者を含む。

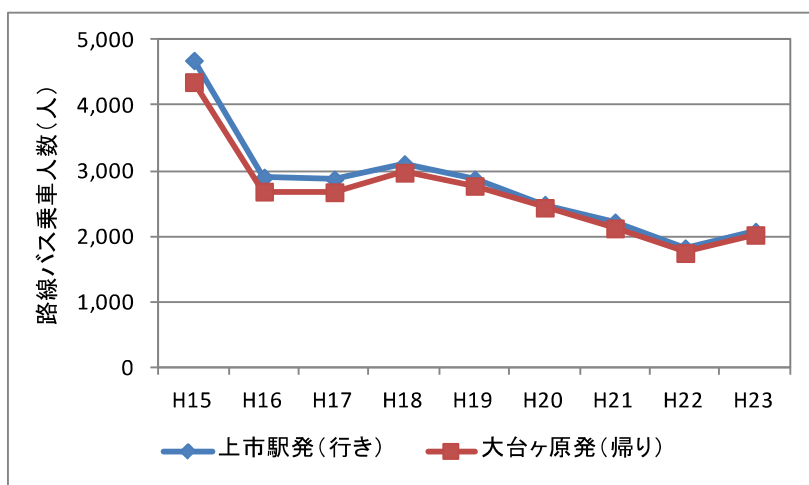


図1：路線バス乗車人数の推移

出典) 奈良交通(株) 吉野営業所

注1) 上市駅発大台ヶ原行きについては、途中（和佐又、杉の湯）で下車した者を含む。また、大台ヶ原発上市駅行きについては、途中（和佐又、杉の湯）で下車した者を含む。